



わたしが、  
Kawajo に  
いる理由

current students



周囲の応援で  
育ち、挑戦心

### Student's voice

国際英語学科 4年 富田 和佳奈さん（川口市立高等学校出身）

英語に特化した学科があり、ネイティブの先生が常駐している教育環境に魅力を感じ、Kawajoを志望しました。数ある行事の中で、最も強く印象に残っているのは、学友会で学園祭に出展したことです。代表としてメンバーを統率したり、収益を試算したりと、これまでにない貴重な経験をさせていただきました。学友会が一丸となって準備した結果、当日のイベントは大盛況。メンバーと喜びを分かち合ったことが記憶に新しいです。どちらかといえば消極的だった私がさまざまなことに挑戦できるようになったのは、先生をはじめ職員の方々が常に味方になって応援してくださるおかげだと、感謝の気持ちでいっぱいです。学業に限らず大学生活全般の相談にも乗ってくださるので、とても充実したキャンパスライフを送れています。



多彩な役割を  
担い、苦手を  
克服 意識

### Student's voice

史学科 4年 坂本 枝美里さん

（私立宇都宮海星女子学院高等学校出身 現：私立星の杜高等学校）



Kawajoを志望した理由は副専攻制度です。歴史・民俗や伝統芸能の両方に興味があり学びたいと考えていた私にとって、同時に学べる副専攻制度にとっても魅力を感じました。また親元を離れ一人暮らしになった時、相談する場所があることや先輩方のサポートがあることをオープンキャンパスなどで実感し、安心して学べると確信しました。現在は3つの部活動に携わっています。その中心となる吹奏楽部では、学生に加え外部の吹奏楽団の皆さんと一緒に学校行事や演奏会に参加します。時に意見がぶつかることもありますが、一丸となって演奏会を成功させた時は何にも代え難い達成感を得られます。他にも学科の教育サポーターやオープンキャンパスのアドバイザーなどを務め、表舞台に立つことの楽しさを見出しています。





教職員のサポートで  
心身ともに健やか



### Student's voice

心理学科 4年 辻 菜乃音さん(私立川村高等学校出身)

小学校から川村学園に在籍していた関係で、幼い頃からKawajoはとても身近な存在でした。最終的に大学もKawajoを選んだのは、漠然と興味を持っていた心理学の基礎を1・2年次で全般的に学び、3年次から興味のある分野を履修できる理想的な環境だったからです。それでも、1年次は授業の難しさについていけず、大学を休みがちでした。そんな状況を救ってくださったのは、学生研究室的教務補助さんです。心配してお電話をくださり相談に乗ってくださったおかげで、大学に戻り学園祭の実行委員長を務めるまでに成長できました。学科や学年を越えてメンバーと信頼関係を築き、学園祭を成功させた経験は、これまでにない大きな自信にもなりました。一人ひとりに寄り添った手厚いサポートのもと、今も安心して学生生活を送っています。



周囲の理解が  
自信と意欲を  
生む

### Student's voice

日本文化学科 4年 渡邊 希帆さん(山梨県立吉田高等学校出身)



Kawajoを選んだのは、中学校の国語科教員に必要な専門知識を広く学べるからです。5つの学問領域を網羅している日本文化学科は私の理想に近く、入学前から実技科目の履修も楽しみにしていました。大学生活がスタートして新たにわかったKawajoの魅力は、先生と学生との距離が近く、誰もが私を理解してくれることです。自分を気にかけて、努力を認めてくれる存在が身近にいてくれるおかげで自己肯定感が高まり、自信と意欲が湧いてきます。授業以外でも丁寧に対応して下さる先生や進路の悩みを聞いてくださる就職支援室の職員さん、教員採用試験について相談に乗ってくれる先輩や友人に助けられ、一人暮らしの寂しさも払拭できました。周囲の応援に応えられるよう努力を重ね、必ず目標を達成したいと思っています。



将来の夢に  
直結する学び

### Student's voice

生活文化学科 4年 佐藤 旭さん(茨城県立土浦湖北高等学校出身)



料理関係の仕事に就きたいと考えて、高校時代の進路指導で先生に相談したところ、すすめられたのが Kawajo でした。複数の資格を取得できることも、本学を志望した理由の一つで

す。現在は栄養士と教職のダブル取得を目指し、両方の専門科目を履修しています。どちらの授業も仲間と協働して行う実践的な学びが多く、自分の力に直結しているのを実感します。給食管理実習では、事務作業から実際の調理まで学生同士が協力しながら自分たちの手で60人分の給食を作り上げました。初めての大量調理に戸惑い苦労した分「美味しい」という声を聞いた時には、大きな達成感を得られました。親身に相談に乗ってくださる担任の先生やゼミの先生、同じ目標を持つ仲間たちの助けを借りながら、必ず夢を実現させたいと思っています。



自分の成長を  
実感できる活動

### Student's voice

観光文化学科 4年 廣田 恵実さん(私立北豊島高等学校出身)

興味があった観光について幅広く学べることを知り、Kawajo への進学を決めました。先生と学生の距離が近いアットホームな環境も魅力で、友人や先輩方、先生や事務室の職員さんが親身に相談に乗ってくださるので、安心して勉学に打ち込んでいます。大学では何事にも積極的にチャレンジしようと考え、これまでサークルや産学連携の授業、旅館や旅行会社でのインターンといったさまざまな活動に参加してきました。多くの人たちとの関わりを通して、幅広い視野が養われ、勇気を持って挑戦することの大切さを実感しています。また、施設見学やフィールドワーク、産学連携など、多彩かつ充実した取り組みのおかげで、自分でもわかるほど成長できました。今後もチャレンジ精神を忘れず、可能性を広げていきたいと思っています。

